



2019年8月27日

報道関係各位

第14回まちづくり合同ゼミナールにおける「アルプス口まちづくりのシンポジウム」

取材のお願い

拝啓

残暑の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。さて先日お知らせいたしましたように、毎年恒例の日本大学および明星大学と松本大学観光ホスピタリティ学科の4ゼミとの合同ゼミが今年も行われます。

その中の一つとして本年度は、アルプス口のまちづくりに関する取り組みを予定しています。アルプス口は2003年より駅前再開発をきっかけとして住民によるまちづくりの取り組みが始まり、アルプスの見えるまちづくり、安心して暮らせるまちづくり、高齢者が元気なまちづくりをテーマに、景観形成やバリアフリー化、いばらん亭の開業などに取り組みました。それからすでに17年が過ぎ、高齢化が進む中でもう一度新しいまちづくりの取り組みを模索しています。

そこで今回の合同ゼミにおいて、学生も参画したまちづくりのきっかけとしてシンポジウムを開催し、これからのまちづくりについて考えたいと思います。

今回参加する日本大学と松本大学の学生はそれぞれのゼミにおいて今後2年間にわたり、巾上のまちづくりに関わっていく予定です。また今後まちづくりの取り組みの中核をなしていただける地域の方々や公民館等の地区関係者にも声をかけて参加いただく予定です。

なお今回は学生の取り組みでもあるので一般の参加については予定をしていません。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、取材方よろしく願いいたします。

敬具

記

テーマ：アルプス口まちづくりのこれまでとこれから

日時：2018年9月3日(火) 14時30分～17時

参加者：日本大学高橋雅夫ゼミ・松本大学白戸ゼミ合計約15名

場所：いばらん亭

内容：別紙のとおり

問い合わせ先 松本大学 白戸研究室 0263-48-7200

以上



【別紙】

2019年 まちづくり合同セミナー シンポジウム

松本駅アルプス口周辺のまちづくりを考える

日時 2019年9月3日(火) 14時30分～17時

場所 松本駅アルプス口 いばらん亭

内容・スケジュール

14時30分～15時30分

対談「アルプス口のまちづくりのこれまでとこれから」

巾上西町会 (いばらん亭)

筒井敏男

日本大学法学部教授 (元松本大学教授)

高橋雅夫

司会 松本大学教授

白戸 洋

20年前にアルプス口再開発に直接関わった筒井氏と高橋先生に当時を振り返って頂きながらこれまでのまちづくりの成果と今後の課題について話していただきます

15時30分～16時30分

グループワーク 3グループに分かれて「これから地域が取り組みたいこと・学生が取り組みたいこと」をテーマにしたディスカッションをします。

16時30分～17時 グループワークの発表と今後の取り組みに関する提言

参加者 日本大学・松本大学学生・教員 15名程度 地元関係者

(その他公民館関係者にも出席を依頼しています)

一般の参加は今回は予定していません

なお午前中に学生によるフィールドワークを実施しその成果についてはグループワークの中で発表します

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室・向井研究室 TEL 0263-48-7200(代表)